



箕輪進修高校 進路指導室

2011. 12. 5

No. 67



時間を作る！

世の中には、限られた時間の中でどうしてあんなにも仕事ができるのかと思われる人がいます。売れっ子作家と呼ばれる人は次から次へ新しい作品を作り出しています。人間に与えられた時間は皆平等なのに、どうしてあんなにも仕事ができるのでしょうか。その才能と集中力とエネルギーに感心するばかりです。おそらくそういう人は寸暇を惜しんで仕事に集中しているのでしょう。

そうした人々はごく一握りの才能に恵まれた人と片付けるだけではなく、私達もそうした人の生き様から学ぶべきことも多いでしょう。

日々ぼやっと過ごしたり、与えられた仕事をこなすのに精一杯になっているだけではなく、**自らに課すもの【目標】をまず見つけることが大切**でしょう。自分で自分にある程度課題を課さないと人間は動き出せないものです。人間誰も自分を甘やかすと、つい易きに流れがちです。楽な方がいいに決まっています。しかし何かをしようと思えば、**自分で自分を縛ることも必要**です。そして自ら時間を作り出すよう心がけることでしょう。最初は大変に思っても、それが習慣化すれば苦勞を感じなくなるのでしょう。

そうした気概がないと、時間を有効に使えないものです。皆さんも一度だけの人生、少しでも自分の人生を充実させるために、自分に与えられて時間を有効に使えるよう心がけてみたらどうでしょうか。**時間を消費するだけではなく自ら時間を作り出すことに心を傾けたい**ものです。それが未来への種をまくことになるのです。

自分を監視する存在がない、
ということは

ある意味で楽でしょうが、
逆の意味では

自分の軸がぶれていないか、
という大切なことを、自分自身で
判断しなければならない
ということでもあります。

人の心は次第に

緩んでゆく傾向がありますから、

「ま、いっか」が

どんどん坂道を急角度にし、

転げ落ちる速度を

上げることがあります。

(「本気で言いたいことがある」
さだまさし)

読むことと考えること



今週から読書旬間が始まりました。高校をまもなく巣立とうとする皆さんには、この時期自分の**これからの人生の血や肉となるような本を読んで欲しい**ものです。小説でも、評論でも何でも良いです。若い純粋な時期に魂を揺すぶられ、それにより自分のその後の人生に少なからぬ影響を受けるといってもあります。私も学生時代に何冊かそうした本と出会いました。

ただし本は読むだけではなく考えることも大切です。学生時代に先輩(元東北大学副学長)から**「本を多く読むことよりも、自分で考えることが大切」**と言われたことがあります。本は読まないより読んだ方がよいですが、自分で**本の中から考える訓練をしないと単に本を消費するだけになってしまいます**。皆さんも是非卒業するまでに心を揺さぶられるような本に出会い、それを通じて深く考える機会を多く作って欲しいものです。